



ともだちみんな きらきらえがおで わになり
なかよし ときわっこ 園長だより No2 R8.5.11

園庭に子どもたちの元気な声が響いています。登園時に涙が出ていたいちご組、もも組の子どもたちが、少しずつ幼稚園の生活に慣れ、好きな遊びや場所を見つけて遊び始めています。降園前にクラスで歌ったり、踊ったり、手遊びをしたりすることに喜んで参加しています。きりん組、ぱんだ組の子どもたちは、靴箱前の丸い砂場が大好きです。雨上がりには水がたまり（水はけが悪いので・・・）一部水面に陸地が出ていました。靴と靴下を脱ぎ、穴を掘ったり、といを持って来て水を流したりして工事が始まりました。担任もはだして遊んでいます。土を掘っていると泥水がかかったり、思いが食い違ったりしてトラブルになりますが、相手の気持ちに気付く、相手に分かるように言葉で伝える機会になります。そら組、つき組は、学級でこのぼりの製作をしたり、学年で当番の話し合いをしたりしてクラスの友達とだけではなく、学年の友達と関わる場を作っています。1年間、子どもたちの成長を支えていきたいと思います。

毎年、学校評価の取組にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。今年度は、『「みんなで」「みんなが」育ち合うときわっこ ～異年齢児の関わり合いを深めるための環境構成と教師の援助～』という研究主題のもと保育に取り組みます。保護者の皆様には、次の1と2の内容につきまして7月と12月にアンケートをお願いしたいと考えております。そして、教職員も自己評価を実施し、学校関係者評価委員会で評価をいただきます。その結果は、保護者の皆様に公開し、さらに本園の教育が充実するよう努めていきます。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

令和8年度 常盤幼稚園 経営計画

1 健やかな体と豊かな心を育む教育の充実

- ① 「みんなで」「みんなが」育ち合うときわっこの育成を目指し、異年齢児の関わり合いが深まるような環境構成と援助を考え、実践する。
- ② 心身共に元気で生活するために家庭と連携して、基本的な生活習慣の確立と定着に努める。
- ③ あいさつ運動や指導を通して、あいさつができるときわっこを育てる。

2 地域から信頼される幼稚園づくり

- ④ 幼稚園教育を周知するために未就園児親子を対象とした「ふれあい広場」を月1回実施し、その在り方を工夫する。
- ⑤ 幼稚園教育の理解を得るために保護者や地域の方に分かりやすく情報提供をする。

3 教職員の資質向上

- ⑥ 教職員の指導力向上のために園内研修の充実を図る。
- ⑦ 小学校と教育の連続性を意識するために合同研修会を実施する。
- ⑧ 仲間を信頼し助け合うことができる職員集団となるよう同僚性向上を目指す取組を行う。